

# ふじかわ

10月号 昭和59年10月20日発行 No. 279

### 町のメモ

昭和59年10月1日現在

|     |                      |
|-----|----------------------|
| 人口  | 17,016人              |
| 増減  | +14人                 |
| 男   | 8,367人               |
| 女   | 8,649人               |
| 世帯数 | 4,386人               |
| 面積  | 31.09km <sup>2</sup> |

富士川町 総務課



お母さんガンバレ——

婦人順送球に華麗なプレーを披露！

町のこころの目標  
「笑顔であいさつ明るい町に」

### おもな内容

- 2～3ページ 町議会9月定例会 町長の一般行政報告、補正予算、町議会の第5回臨時会
- 4～5 昭和58年度まちの家計簿
- 6～7 新教育委員に加藤氏・鈴木氏が、町のわだい
- 8～9 広報ディスカッション
- 10～11 ママさん記者が取材中、ふるさと探訪
- 12 戸籍の窓、一里塚、俳句会

### 富士川町民憲章

- 1. わたくしたちは、富士川町民としての自覚をもって 郷土のためにつくしましょう。
- 1. わたくしたちは、心身をきたえ、仕事にはげんで 豊かな町にいたしましょう。
- 1. わたくしたちは、教養を高め、情操を深めて 明るい家庭をきずきましょう。
- 1. わたくしたちは、奉仕につとめ、力をあわせて 住みよい社会をつくりましょう。
- 1. わたくしたちは、創造と努力によって 町の未来をひらきましょう。

# 農道改良工事を中心に 5,932万円を補正

## 予算総額は 28億7,579万円に

町議会の9月定例会が、9月26日(水)午前9時から議場で開催され、常葉町長の一般行政報告を皮切りに、昭和58年度富士川町一般・国民健康保険特別・土地取得特別・老人保健特別・水道事業会計の歳入歳出決算認定や、昭和59年度一般・老人保健特別会計補正予算、教育委員の任命につき同意を求め、町議会広報編集委員会委員および正副委員長長の選任について、十四議案が審議され、27日(木)には、昭和59年度補正予算は、農道改良工事などを中心に五千九百三十二万円を補正、予算総額は二十八億七千五百七十九万円となりました。また、老人保健特別会計は、医療給付費を中心に一千二十万円を補正、予算総額は、三億二千二百二十万円となりました。教育委員の任命につき同意を求め、新に加藤行雄氏(川坂)、鈴木忠氏(南町一)の同意を議会に求めたもので、これにより両氏は10月1日から向こう4年間、教育委員として選任されました。

### 町長の一般行政報告

昭和59年度も半年を経過しようとしています。6月の定例会において、新しく助役・収入役を選任、同意をいただきました。新体制のもとにみなさんのご理解をいただきながら、懸案事項に取り組んでまいりました。まず、上半期における事業の執行状況ですが、現在まで契約した金額は件数で七十四件、四億四千五百九十六万五千円、事業費において五十三割と低い執行率になっています。10月4日には、中央公民館の入札を予定していますので、それを加えると七十四割となり、さらに10月中には、七十五割を超える予算

執行を見込んでいます。今まで契約した一千万円以上の主な工事としては、電算機購入四千五百五十万円、第一小学校耐震補強工事六千三百八十五万円、中野宅造地内下水管配水管布設工事八百八十万円、農免農道工事七千四百九十万円、防災行政無線工事二千四百万円、公共上町小山線改良工事一千八百九十万円、野田山保健休養林関連工事二千五百七十六万円等です。

また、国・県の大規模事業としては、中野住宅団地が61年度売り出しに向かつて、造成工事が急ピッチで進められています。富士川身延線バイパス用地の早期買収、吉津川砂防堰堤の工事発注も控えています。また、富士川橋架け替えについては、県の補正でその方法についての調査費がつけられました。

新幹線富士駅設置運動については、その詳細が新聞等でも報道されており、富士市を中心に岳南、庵原、西伊豆、そして山梨県をかかえこんで、国鉄、国等に陳情を重ね、この秋にも国鉄の富士駅設置の指定があるのではないかと期待しています。すでに設置期成同盟会から工事費の負担金として三千三百二十万七千円が割り当てられています。

民体育大会、11月3日を中心に文化祭が行われます。また、町民体育大会のすぐあと、各区のみなさんとの「町政を語る町民との集い」が、12月まで全地区三十一会場で開催される予定になっています。

次に行政事務の中からいくつかご報告します。

まず、民生関係では窓口事務の改善として、五千八百三十件に及ぶ除籍、現戸籍のマイクロフィルム化を二百六十二万五千円かけ、2カ年間で完成し、保存と証明に威力を発揮しています。国民健康保険関係の中では、成人病の早期発見のため、国民健康保険中に成人病検査費助成



9月定例会には大勢の傍聴者が

標を八百人に置いています。次に、税務課においては行政事務の効率化のため、新しく電算機「エーコス40」を導入し、まず、民生課窓口の一部オンライン化を進め、60年1月からは漢字による住民票の発行ができるよう準備を進めており、税関係等のオンライン化など、今後の事務作業の効率化をさらに推進するものです。

次に、総務部門が中心に推進している第二次総合計画については、総合計画審議会を8月10日開催し、三十四人の委員を委嘱しました。6月に町民のみなさん五百人に住民意向調査のためアンケートをお願いしましたが、四百九十五人の回答をいただき厚くお礼申し上げます。10月から始まる「町政を語る町民との集い」の中で、その結果をお話しさせていただくことにしています。

現在、国・地方をあげての行政改革については、常に考えてきたことで、その一部について実行に移していますが、すでに理論から実践の時期に入っていますので、今後みなさんに特段のご協力とご理解をいただくものです。

次に、当町の当初予算ベースで三億六千九百六十五万七千円十三・七割を占める三つの一部事務組合の事業関係について少し報告します。

まず、共立蒲原総合病院では胃ガン集団検診車を三千九百八十万円で契約10月早々には納車し、現在ほいて詰の集団検診を予定しています。

環境衛生組合における斎場建設については、用地買収や建設のための地元の了解も取りつけることができ、これから設計に

入り60年度単年度で建設を計画しています。そして、庵原地区消防組合では、懸案であった救助工作車の購入を二千九百九十五万円で契約し、60年1月には納車が予定されています。購入により火災をはじめ、ますます増える交通事故処理や、あらゆる災害救助並びに救助工作活動に威力を発揮することになります。

### 一般会計の補正予算

|                        |           |                |           |
|------------------------|-----------|----------------|-----------|
| 総務費                    | 一千九百九十九万円 | 土工費            | 一千四百五十五万円 |
| 富士川町総合計画立案コンサルティング委託料外 |           | 土木費            | 四百五十五万円   |
| 民生費                    | 六百六十六万円   | 平清水矢所線法面崩壊防止工事 |           |
| 衛生費                    | 三百三十三万円   | 消防費            | 百九十三万円    |
| 農林水産業費                 | 二千四十二万円   | 教育費            | 四百六十一万円   |
| 大平農道改良工事追加分            |           | 災害復旧費          | 百七十七万円    |
| 林道室野中山線測量設計委託          |           | 諸支出金           | 二十四万円     |

### 中央公民館本体建設工事・舞台設備工事 請負契約が議決される

10月4日、富士川町中央公民館建設に伴う本体建設工事及び舞台設備工事の入札が行われ、本体建設工事は六億二千四百万円、若月・佐野建設共同企業体が、また、舞台設備工事は七千四百九十九万円、龍電社が落札しました。

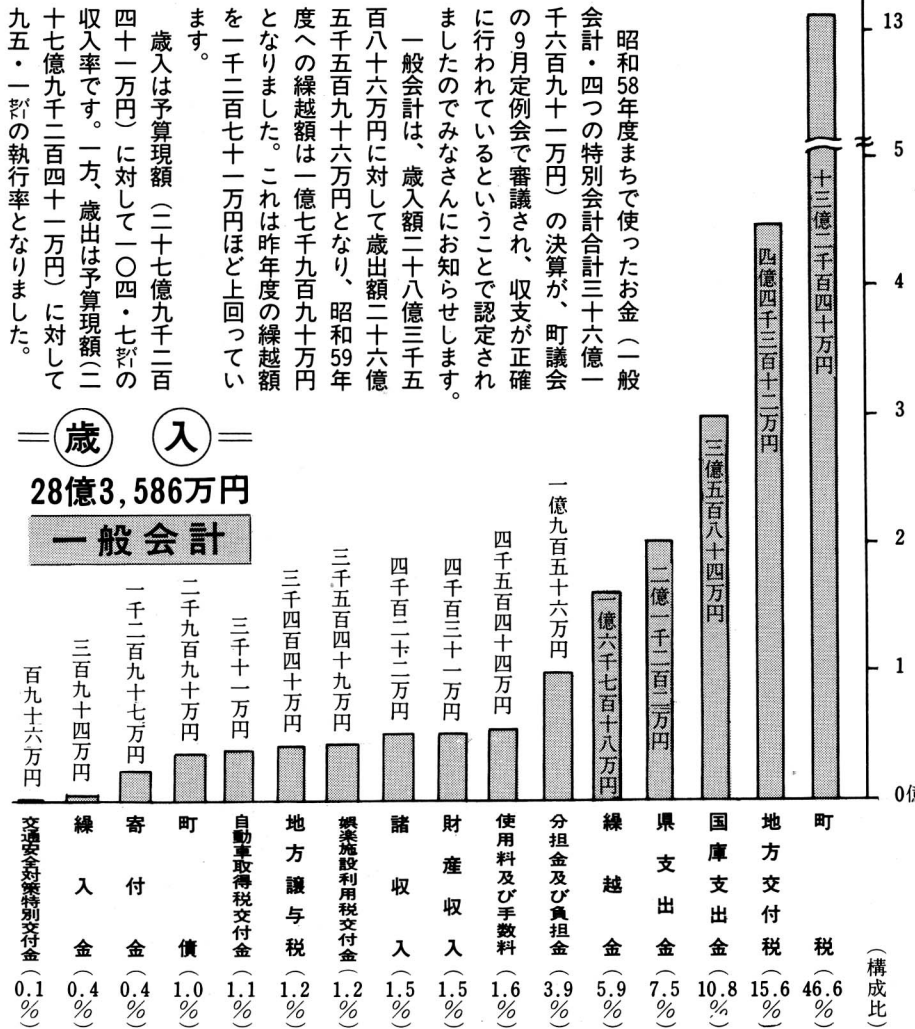
今後、同建設工事を進めて行くには、両社と請負契約を締結しなければなりません。同契約については、町条例に

よって議会の議決が定められています。このため、10月6日町議会の第五回臨時会が開かれ、中央公民館本体建設・舞台設備工事請負契約についてなど三議案が審議され、すべて原案どおり可決されました。

この結果、昭和60年9月完成を目ざし中央公民館建設事業がスタートしました。

# 昭和58年度まちの家計簿 まちで使ったお金

## 三十六億一千六百九十一万円



### 特別会計の決算

| 特別会計名  | 歳入        | 歳出        |
|--------|-----------|-----------|
| 国民健康保険 | 4億4,567万円 | 4億1,872万円 |
| 土地取得   | 1億5,869万円 | 9,101万円   |
| 老人保健   | 2億7,487万円 | 2億7,427万円 |
| 水道事業   | 1億4,609万円 | 1億144万円   |
| 資本的収支  | 4,766万円   | 7,551万円   |



9月の交通安全運動期間中に交通事故 事故多発



9月町内では、人身事故4件(4)、物損事故3件(0)合計7件(4)発生し、5人が一週間から一カ月の怪我をしました。(一)は昨年)

これらの事故を路線別に見ると国道一号線で3件、富士川身延線で2件、町道で2件発生しています。また、これらの事故原因は、前方不注意、わき見、運転操作の誤り、とび出しなどです。

9月には「秋の全国交通安全運動」が21日から10日間行われましたが、同期中に4件の事故が発生しています。

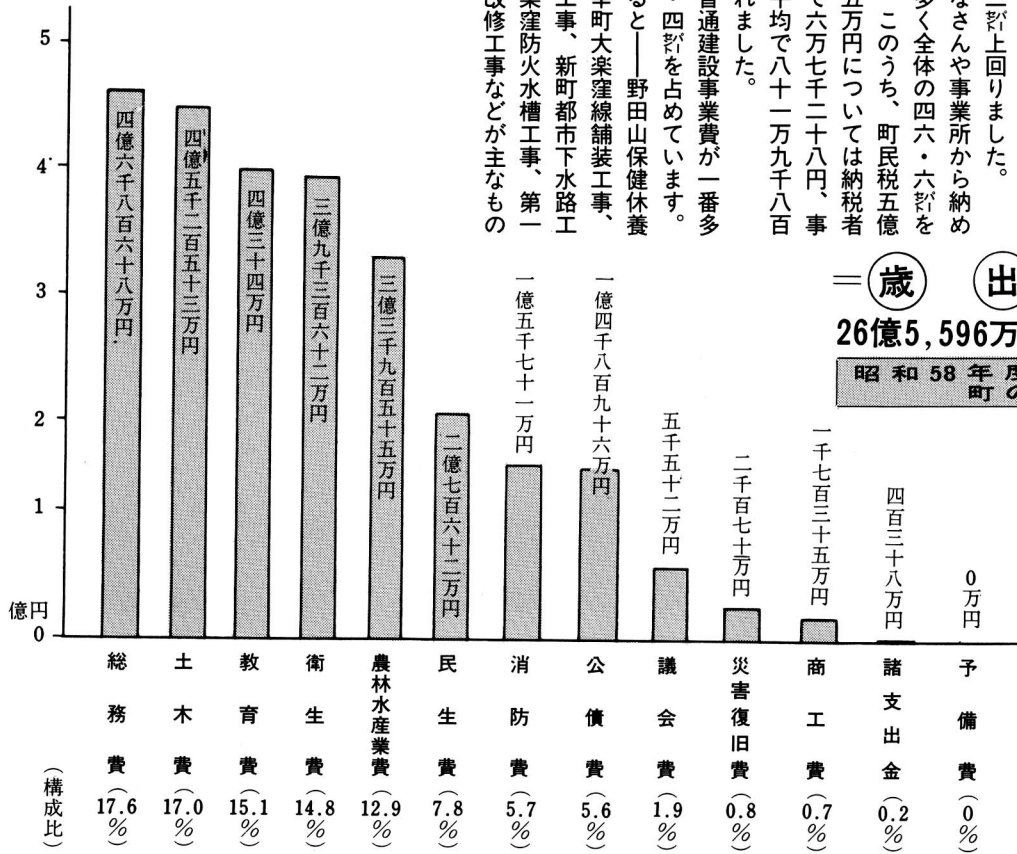
運転者や歩行者のみならず、お互いが交通ルールを守り、交通事故0をめざしましょう。

町の財政力を示す自主財源の収入額に対する割合は六一・五割で昨年度と比べると〇・三割上回りました。

歳入は、みなさんや事業所から納める町税が最も多く全体の四六・六割を占めています。このうち、町民税五億八千二百三十五万円については納税者一人当たり平均で六万七千二百二十八円、事業所一社当たり平均で八十一万九千八百九円が納められました。

歳出では、普通建設事業費が一番多く全体の三三・四割を占めています。この内容を見ると――野田山保健休養林造成工事、幸町大楽窪線舗装工事、寺沢護岸改修工事、新町都市下水路工事、室野・大楽窪防火水槽工事、第一小学校プール改修工事などが主なものです。

歳入 28億3,586万円  
歳出 26億5,596万円  
昭和58年度



### 歳出の性質別

| 区分         | 金額        | 構成比   | 伸び率    |
|------------|-----------|-------|--------|
| 人件費        | 6億3,458万円 | 23.9% | 98.9%  |
| 物件費        | 2億6,389万円 | 9.9%  | 91.5%  |
| 維持補修費      | 549万円     | 0.2%  | 104.9% |
| 補助費        | 3,391万円   | 1.3%  | 42.3%  |
| 補助費等       | 5億833万円   | 19.1% | 119.0% |
| 普通建設事業費    | 8億8,720万円 | 33.4% | 115.5% |
| 災害復旧事業費    | 2,177万円   | 0.9%  | 163.6% |
| 積立金        | 1億570万円   | 4.0%  | 76.8%  |
| 投資・出資及び貸付金 | 1,526万円   | 0.6%  | 235.0% |
| 繰出金        | 3,087万円   | 1.1%  | 182.8% |
| 公債費        | 1億4,896万円 | 5.6%  | 96.5%  |



野田山などにキジを放鳥  
富士川・松野猟友会が!



加藤さん・木本弘さんらがキジを放鳥(野田山広場)

9月27日(木)、富士川猟友会(加藤早苗会長)が野田山保健休養林に、また、松野猟友会(望月政太郎会長)が中山付近に、それぞれ午後六時のキジ十羽(雄一五羽、雌一五羽)を放鳥しました。

この放鳥は、同地域三百万平方メートルが昭和58年11月から休猟区となりましたが、近年ハンターなどの増加に伴ない、野鳥などが減少してしまつたために、自然環境に恵まれ野鳥などの宝庫として知られていた同地域を再現していこうという願いをこめて行われました。

数年後には子びな連れの姿が見られると思います。みなさん暖かく見守ってください。

教育委員に  
加藤氏・鈴木氏が就任



加藤行雄氏 (49)  
(川 坂)



鈴木 忠氏 (59)  
(南町二)

常葉町長は、五名の教育委員のうち、9月30日で任期切れを迎える秋庭正和氏、上野直記氏の後任委員に、加藤行雄氏、鈴木忠氏を任命する人事案件を9月定例議会に提出し、議会の同意を得ました。この結果、教育委員は、金指恭三氏、石川文彦氏、望月康江氏の五名となりました。

新教育委員となった加藤氏は、昭和49年4月から昭和52年3月まで町立第一小学校PTAの正副会長や庵原郡PTA協議会長などを歴任、昭和47年11月から(株)寒川工業所社長を務めています。また、鈴木氏は、昭和47年4月から翌年3月まで南町中沢区長、昭和57年から町特別保有税審議会委員を歴任、昭和56年10月からは(株)清水銀行の専務取締役を務めています。両氏は今後四年間、町の教育・文化の向上に活躍されることになりました。

約七千人の町民の声援をうけて  
町民体育大会が盛大に

秋晴れの10月7日、町をあげてのスポーツの祭典「町民体育大会」が、町立第一中学校グラウンドで、全町から十七チームが参加し、盛大に行われました。

同大会は、「全町民が積極的に参加し、スポーツを通じて一日を楽しく過ごして明日への健康生活の糧とし、あわせて町民の社会体育の推進に寄与する」という目的で行われ、今年で二十八回目を迎えました。

年々、各区の得点争いは激烈をきわめ、大会最終種目の年齢別リレーまでもつれ込み、同リレーで二位となった南町一・二区が二十六点を獲得して総合優勝に輝き、準優勝が北松野一区、三位が宮町という結果になりました。



選手団が次々に入場



「ヨイショヨイショ、→  
かじまんのうでくらべ  
(つなひき)



足はきれいに  
そろっているかな  
(百足リレー)



幼児も三輪車競走で大会に参加

町の

わだ



守田隆宏くんが  
力強く選手宣誓



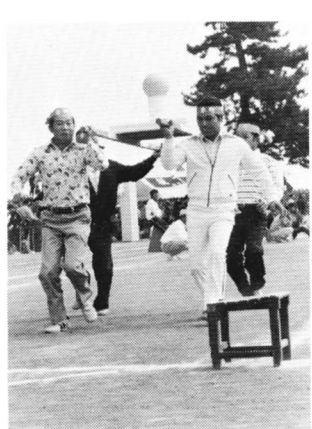
お父さんしっかり足を上げて  
(親子二人三脚リレー)



日ごろの訓練成果をひろう  
(消防団小型ポンプ操法)



熟年パワーを發揮  
(まだまだわかい)



協力しあいバランスが大切な  
富士川渡し



大会を盛り上げた  
区民の声援

本通一区出身の田邊氏が  
水産庁海洋魚業部審議官に就任



田邊隆一氏 (52)  
横浜市在住

本通一区出身の田邊隆一氏が、農林水産省の人事異動により、水産庁で最も重要なポストの海洋魚業部審議官に栄転されました。

同氏は、昭和30年4月東京大学農学部を卒業すると同時に水産庁に入省し、以来在イタリア日本国大使館参事官や水産庁研究部研究課長などの要職を歴任してきました。現在は、日米漁業交渉、捕鯨会議など漁業に関する国際関係の仕事を担当し、活躍されています。審議官就任にあたり「最近、魚離れということがいわれていますが、魚は日本ではほぼ完全自給の可能な数少ない食品の一つですから、安定した量の確保と価額の維持を目指し、また、外国沖の漁業確保にも力を入れるべく、諸外国を飛びまわり、頑張っています」と抱負を語っていました。

町職員の人事異動 (10/1付)

- 飯田英之・環境衛生組合技師(環境衛生課清掃員)
- 菊地定雄・環境衛生課清掃員(環境衛生組合技師補)
- 雨宮 徹・税務課主事(同主事補)
- 大島具視・退職



人一倍  
夜の長い私

木島 北村琴美さん(33)

秋の夜長といわず、私は一年中夜が長い。舅の生前の習慣でわが家の夕食は四時半と決まっています。そのため、昼間の時間が極端に短かく忙がしいのに比べ、夜は近所の奥様たちが夕食の買物をされる頃食事を済ませていきます。子どものいない私は、その後の時間を、読書、刺し子、編み物、人形作りとその日によってさまざまですが、秋はとりわけ読書に更けります。時間に制限の無い私は、波長の合う一冊の本を見付けると、その作家の思考その他全てを知りたくなり、その人の本を片っ端

から読みます。

テレビ映画を見る場合も、原作が有るものは、それらを見る前に、まず原作を読みます。すると、自分の感性とテレビ映画用に脚色した脚色家との感性の差が有って面白いのです。また、一冊の本を読むことにより、たとえば、小説の中に備前の火燐という言葉が有れば、陶器の本で調べます。すると陶器にも、興味を持つという具合に、自分の世界がどんどん膨んでいきます。学生時代、若さという体力には自信が有りますが、いつか飛び跳ねていた私ですが、これからはそうもいえない年齢に向かい、この長い夜を、少しでも肉面的なものを磨く時間に費したいと思えます。

灯火親し

大北町 望月和子さん(7)

つるべ落しの日が山の端に沈むと、庭のサルビア、コスモスが残照に色を深める。日の短くなった主婦の夕方は忙しない。そして夕闇が迫り、虫時雨の夜長となる。

夕食の片付けを済ますとや々と雑用から解放され、私の時間となる。自分の時間が長いこの季節が私は好きだ。

朝から見聞きしたこと、感じたことを、整理したり、まとめたり、またはメモを見たりして考える。それを五・七・五に表現する。つたない私の俳句作りである。心に強く感じたこと、表現を、あの言葉、この言葉と推敲を重ね、辞書を引く歳時記を調べる。この苦勞が楽しい。

お父さんやお母さんと  
オセロをやりませう

父のかたみの書架古りて  
秋になりました。通学路でどんぐりやすすきを見つけた。夜は暗くなるのが早いです。

わたしは、夜、お父さんやお母さんとオセロをやりませう。勉強が少ない時や、早く終わった時です。

気がついて見ると、もう時計は九時を廻っている。ニュースセンターを見て、本を読む。最近はなかなかまとまった本が読めない。月刊の俳句誌はせめて隔々まで読もうと思う。その他俳句関係の本、句集等を読むのが楽しみである。昔のように、小説をいつきに読んでしまうということは少なくなった。こうして、今は夜を自分の時間に見えるようになったことが嬉しい。勤めていた頃は、家事一切を朝晩にしまわなければならぬし、子どもとの話し合いもある。どんなに夜が長くても足りない感じであった。家事が済むと、学校の仕事で、夜も勤めの延長であった。

はじめは、ルールも知らなかったけれど、自分でせつ明書を読んで、家で一番先にルール

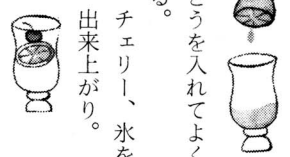
『書齋の秋』

舟山町 植松良三さん(6)

わが家は八十四歳の祖母、私たち夫婦、若夫婦、孫たちとの大家族だが、みんな元気で仲良く毎日を送っているのは有り難いことである。夕方六時、みんなで今日一日の出来ごとを話しながらささやかな夕食をとる。私はアルコールをたしまないの

投稿者へ

- ① 11月号のテーマ 私の手づくりおやつ
- ② 400字づつ原稿用紙一枚以内
- ③ 締切り日 11月5日(月)まで
- ④ 投稿先・問合せ先 富士川町役場総務課 岩淵12番地
- ⑤ 注意事項 匿名者の原稿は掲載しませんから、必ず住所・氏名・年齢を記して、締切り日までに投稿してください。

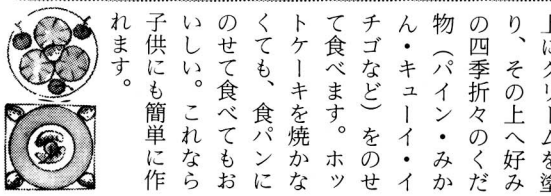


① レモンのしるをしぼる。

② 水とさとうを入れてよくかきまぜる。

③ レモン、チェリー、水を浮かせて、出来上がり。

11月号のテーマ  
私の手づくりおやつ



家庭で簡単に出来るおやつには、①ホットケーキを焼く。②生クリーム(スノーホイップ)を作る。③くだ物を食べやすく切る。ホットケーキの上



加藤千津子さん(小山) (30)

- ① 寒天を煮ておく。
- ② くだ物やあんこを小さいアルミケースに入れる。
- ③ 寒天を流し込む。

平凡な秋の夜が  
とても大切に思えます

上町 大久保光代さん(39)

仕事が終わる、工場の並みを通り抜ける風に、秋を感じたのはお盆も過ぎた頃であった。畑の

楽しく、忙しきかな  
秋の夜長

南町一 池内ふみ子さん(7)

私の手が手だったあの酷暑の夏もようやく過ぎ去り、燈火親

畔道に、虫の声に、確実に一歩近づいて来る秋の気配を感じながら、ホッと一息つけるのは、やはり夜のひとときである。ふと、二年前を思い出す。実家の母が交通事故で入院し、付き添いのため病院生活を送っていた私は、季節の変わり目など全く気づかずに、稲刈りが終わって秋を知ったのだ。

世間ではとかく核家族などという老人がさみしい生活をしていられている昨今、大勢の家族に囲まれて忙しい夜を過ごすのもまた幸せではないでしょうか。孫も息子夫婦も私を必要としなくなつた時、本の好きな私はゆつくり秋の夜長を満喫しよう。

好きなモーツアルトの「四十分」を聞きながら「一燈を掲げて暗夜を行く、暗夜を憂うこと勿れ只一灯を頼め」という「言志四録」の言葉を思いつつ書齋の秋の夜は更けていく。

# ママさん記者が取材中



## 「若鮎グループ」 (栄養学級二年生)

運動会も終り、ホッとしたと同時に、ここ連続して震度計が活躍しているようです。各ご家庭ではいかがお過ごしでしょうか。

「秋」女性にとって、食事に関することは切り離せないものです。「食欲の秋」につられ、私たち広報モニターは、10月2日(火)「若鮎グループ」のリーダー 深沢美智子さん(新町本町) 大石清子さん(堺町)、環境衛生課 保健婦の今井さん、松永さんをお招きし、同グループの主旨や活動などについてお話をうかがいました。

同グループは、昭和54年「私

たちの健康は、私たちの手で」をスローガンに結成され、会員のみなさんは、4月広報により募集し、年十回の保健栄養の実習を終了した人たちです。

現在二十一人の会員が、県生活推進協議会の推進員として、各地区の健康な食生活を旨とし、毎月のテーマを決め、栄養士の酒井寿子先生(相生町)の指導のもとに、一中・二中調理室を交互に利用させていただき活動を展開しています。

活動内容として昨年度は――

- 夏休みの「母と子の料理教室」
- 11月3日(文化の日) 塩分一割のみそ汁の試飲会
- 1月――老人会の新年宴会の軽食の差し入れ

「スキムミルク入りみそ汁、人参入り蒸しパン」特に今年度は、乳児検診のお手伝いと手作りおやつについて参加したいとのことでした。うす味を心がけ貧血、成人病、高血圧の予防と調理方法、お正月に欠くことのできないおせち料理など、毎回工夫をし主婦の経済観念の上に、一回に三品実習するそうです。

お話の中で「インスタ



深沢さん・大石さんにインタビューする広報モニター

## ▼社会教育(地域学習)の課題▲

# 「豊かさ」の中で

数年前のことですが、ある国の官僚が日本の住宅を見て「うさぎ小屋」と呼んだことがありました。当時はマスコミばかりでなく、私たちが話題にしました。半分は自嘲気味だったのですが。

たしかに日本人の衣食住の生活を見ると、きわめて住宅の条件に恵まれていませんが他は「豊かさをもてあます」ほどの暮しぶりです。

過日、発表された総理府と経済企画庁の国民生活に関する調査では、実に九割近い人たちが自分の生活を「中流」だと思っているとの結果を出しています。

人間、昔から「貧すれば、鈍する」といわれ、貧乏すれば頭の働きは愚鈍になり、行動さえさもしいものになるらしいです。

しかし、中流意識の強い日本人にはこの故事は通じないように思えるのですが、私たちの暮しぶりは、ほんとうに「中流」なのでしょうか。

何をもって衣食住を中流と判断しているのか今ひとつはつきりしないのです。家の構え、学歴、服装、車や電気製品どれも判断の基準にはなり得ません。しかも、ひと皮むけば火の車の現実もあるのです。

私たちはこの中流に仲間入りするためにただ「ひたすら」努力してきました。その成果もありました。しかし「本物の中流」になれたかどうかについては疑問が残るのです。

それは何かというと、豊かさにふさわしい生活態度なり意識を「身につけた」かどうかです。自信がないのです。そのため多くの社会問題を引き起こし、悲劇の主人公たちが世の注目を浴びる結果となつてしまつたのだと思います。

「貧は世上の福の神」という諺がありますが、「豊かさ」がこの逆にならないように願うものです。

崩壊の兆しすらあるといわれる中流意識を本物にするために

## ふるさと探訪

石仏巡礼(四)

### 静清庵遊歩道の石仏

静清庵自然遊歩道は、北松野 峯山山頂のはたご池が起点となつて峯つたいに、蒲原町、由比町へとびている。

このはたご池の脇に荒沢不動尊の奥の院があり、不動明王の石像が祀られている。総高113cm 明治23年1月、法王山妙松寺第28世中仰建立と記銘されている、ごく浅い浮彫像である。

西へ向つて稜線を進むと2km程して愛染堂跡に着く、その少し手前の鞍部に馬頭観音が建立されている。四角の基礎、円筒の竿、大きな蓮弁の中台の上に舟形光背に浮彫された馬頭観音である。総高118cm、竿部に馬頭

観世音菩薩、文政七甲申九月吉日 (1824) 施主 郷内一結、世話人風岡藤右衛門、小川李之丞と刻銘されている、北松野村中共同造立である。

数年前自然遊歩道が整備される以前はかなり荒れ果てた山道であつたが、その昔ほどうしても越して通らねばならぬ交易の道であり生業の道でもあり、由比町、芝川町、北松野を結ぶ重要な連絡路として位置



づけられていたもようがうかがえる。あいぜん道、天神道の愛称でも親しまれてもいた。

芦川守正

## 星の子



## 青面金剛立像

まちの指定文化財(七)

彫刻 青面金剛立像 昭和54年12月5日指定 指定番号 第6号 管理者 庚申堂 木島区 型状等 像高39cm

本像は、木島区円通寺直下にあります庚申堂正面の厨子に安置され、木造、彩色された小型の立像で、像容は良く整っています。

この立像が安置されているお堂は、もと立派なお堂でしたが、戦後老朽化がはげしいために解体され、現在は仮堂です。

形状は、直径約10cmの光背に火焰3個がつき、四臂です

が二手は欠損しています。現存する二手の左手には絹索を持っています、右手の持ち物はありません。

本像の背面に次のような造立文が彫刻されています。

駿州庵原郡 慶安四年 庚申本尊 本願 助左衛門 円通寺 蒲原荘 喜島村 諸檀那 霜月十一日吉辰

この造立銘により、本像が江戸時代初期に制作安置されたことがわかり、当時の木島村での庚申信仰がうかがい知れ、また町の庚申信仰を研究する上でも大変貴重な像です。



# 戸籍の窓

昭和59・9・15・30届出分

(敬称略)

## おめでた

| 区名   | 氏名    | 保護者続柄 |
|------|-------|-------|
| 木島   | 芦川かおり | 良治 四女 |
| 坂下   | 齋藤洋輔  | 泉 長男  |
| 旭町   | 齋藤かおり | 誠一 長女 |
| 四十九町 | 清 貴彦  | 勝美 長男 |
| 小池   | 野澤裕亮  | 正敏 長男 |
| 本通三  | 西村実香  | 公宏 長女 |
| 東町二  | 大村 舞  | 裕一 長女 |
| 南町二  | 手島奈々  | 大輔 長女 |
| 富士見町 | 中澤 萌  | 正己 二女 |
| 〃    | 國本卓也  | 亮一 長男 |
| 八幡町  | 稲葉千穂  | 幹雄 二女 |
| 富士松野 | 井出沙織  | 慶次 二女 |
| 清水町  | 白井鯛二郎 | 信洋 二男 |

## かなしみ

| 区名  | 氏名    | 年齢   |
|-----|-------|------|
| 大北町 | 小澤有理沙 | 裕 長女 |
| 室野  | 望月作市  | 六七   |
| 坂下  | 高坂喜代子 | 五六   |
| 〃   | 長谷川武雄 | 七一   |
| 宮町  | 宇佐美周郎 | 四七   |
| 本通三 | 北川宇麿子 | 八四   |
| 八幡町 | 天野もな  | 八一   |
| 清水町 | 木伏久浩  | 五五   |

## お母さんの

### 知恵袋

#### 冷蔵庫の使いかた

○卵を冷蔵庫に入れるときは、おいの強いものを近くに置かないようにする。

○冷蔵庫のボックスに入れる時、洗ったりしないで、そのままとがった方を下にして丸味のある方を上にすれば長持ちする。

○冷蔵庫を上手に使うには、各段によつて温度が違うので、上段にはいたみややすい肉や魚の生ものを入れ、中段にはソーセージや蒲鉾などの加工食品、家庭で調理した食品などを入れ、下段にはバターやチーズ、罐詰、果物などを入れる。野菜は野菜ケースの中に入れる。

○冷蔵庫に入れない方がよい物  
茄子、甘藷、馬鈴薯、バナナ、また、チーズも分離しやすく、パンも乾きやすいので涼しい季節には入れないほうがよい。

#### 深澤

## おわび

本紙9月号広報ディスプレイカッションで、出雲義樹さんを出雲美樹さんと、総合計画審議会委員田村和彦(富士松野)さんを(清水町)と、90歳以上の高齢者(女性)宮沢知誉さんを男性欄に誤記し掲載しましたので、深くおわびし訂正させていただきます。

○肉を上手に冷凍するコツ  
一回分の使用量に分けラップにぴったり包み冷凍する。薄切りの場合は少しずらして包む。ステーキなど厚い肉は、塩、胡椒をして一切ずつラップに包んで冷凍する。

## 一里塚



ある日の夕方犬を散歩させていると雨が降り出してきました。ちょうど勤め帰りの人達は足早に坂道を登って来ました。その中の一人がカバンの中から新聞紙を取り出し頭の上にのせました。すぐに丸めて捨てていってしまいました。注意しようかと一瞬思いましたが、余分な事を言つて何か言われても悪い見えて見ぬふりをしてしまいました。そして、その人の捨てた新聞紙を拾つて捨てるという事もしま

ある日の夕方犬を散歩させていると雨が降り出してきました。ちょうど勤め帰りの人達は足早に坂道を登って来ました。その中の一人がカバンの中から新聞紙を取り出し頭の上にのせました。すぐに丸めて捨てていってしまいました。注意しようかと一瞬思いましたが、余分な事を言つて何か言われても悪い見えて見ぬふりをしてしまいました。そして、その人の捨てた新聞紙を拾つて捨てるという事もしま

ある日の夕方犬を散歩させていると雨が降り出してきました。ちょうど勤め帰りの人達は足早に坂道を登って来ました。その中の一人がカバンの中から新聞紙を取り出し頭の上にのせました。すぐに丸めて捨てていってしまいました。注意しようかと一瞬思いましたが、余分な事を言つて何か言われても悪い見えて見ぬふりをしてしまいました。そして、その人の捨てた新聞紙を拾つて捨てるという事もしま

## 富士川短歌会

九月詠草 (天野寛選)

小池 中川しな子  
夜の間大きく張りし蜘蛛の巣の中程にいて主は動かず  
本通一 長橋 安子  
九月三日記録破りの熱帯夜窓を放ちて畳に寝ねぬ  
四十九町 辻 すみじ  
京成電鉄につとめ持つ吾子は甘露煮と焼き蛤を送りくれたり

木島 角替千鶴子  
ひさびさに農を休みて雨の音聞きつ今年詠草を操る  
新町本町 深沢千代子  
山深き簑面の里の溪谷は瀑水の音とひぐらしの声  
四十九町 塩川 恒子  
孫守りて蜜柑の仕事遠のけば雑草は伸ぶ吾が丈越して  
相生町 長谷川ゆり子  
ラジオを消しこの夏山の音聞けと日曜百姓の夫は云いたり

宮町 若月 幸江  
日は照りて百日紅の花吹き散らす九月はじめの風は涼しく  
宮町 荻野 敏音  
送別の宴を終えて中空にさやかに照れり十六夜の月  
四十九町 入月 弘子  
ベットの位置少しずらしてこの夏の終りの暑さしのぎつついる